



大阪の恥!
差別者・橋下

大阪市長・橋下が、八月二十一日に「慰安婦」問題について、歴史歪曲・女性差別発言を行った。「『慰安婦』という人たちが、軍に暴行、脅迫を受けて連れてこられたという証拠はない」「あつ

たというのであれば、韓国の人たちに出しても「らいたい」。

直ちに日本軍「慰安婦」問題関西ネットワークは公開質問状を提出し市長との面談を要求した。しかし、橋下は拒否

面談を要求した日に再度緊急記者会見を行い、「意思に反して強制されたかどうか、裏付ける証拠がない」とまたも発言。九月二十三日、被害者ハルモニの金福童さんが「私が話す」と来阪。集会を行い、翌二四日、役所に橋下を訪ねた。事前連絡を無視して橋下は不在。金福童ハルモ

二は応対した秘書部長らに事前に自身の体験を話し、「一言一句ももらさず橋下伝えて欲しい」と話し、市もそれを約束した。

ハルモニたちが面会を求めていたその時、橋下は自宅で、否定的発言をツイートしていた。しょせん橋下は陰でしか悪口が言えない卑怯者だ。政界から追放しよう。

沖縄基地撤去!
オスプレイ強行配備を許さない!

沖縄では九月九日オスプレイ配備に反対して県民大会が開かれ十万一千人が参加した。沖縄県下

全自治体はオスプレイ配備反対決議をあげており、強行配備されるなら沖縄の自治はないと、二八日午前、県議三九人も党派を超えて県議会前(那覇市泉崎)で座り込みをし

た。二九日、台風十七号の暴風の中、米軍普天間飛行場の主要三ゲートが市民達によって封鎖された。九月三〇日、沖縄県警は報道陣をシャットアウトし、大量動員で市民を強制排除。民主主義も沖縄県民の意思も踏みにじられた。

十月一日に六機、二日に三機オスプレイの配備が強行された。三日、「オスプレイ配

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

「公務労働と教育政策」・「市政改革プラン」

橋下市長と大阪維新の会による公務労働者と公務員組合への攻撃は常軌を逸したものと看做されるを得ません。職員に対する異常なまでの統制と支配の強化、憲法や労組法を無視した組合への支配介入と活動制限、そして民主教育を破壊する教育への政治介入。さらに、「市政改革」と称して、地味強硬、コミュニティ、人権、平和を推進してきた諸施設への運営や助成を廃止する施策、朝鮮学校への補助金停止などを進めています。それは共生ではなく競争社会の実現であり、共助ではなく自己責任の強調であり、社会的弱者の切り捨てに他なりません。



<会場を埋め尽くした3月の集会>

こうした状況に際して今回、現代社会論や社会教育学を専攻されている薬師院仁志教授をお招きし、いま大阪で起きている橋下現象についての議論を深めたいと考えました。

また、橋下市長からの攻撃を受けていくつかの現場からのリアルな状況報告もお聞きし、対抗する運動や政策を検討したいと思います。

皆さん、ふるってご参加ください。

10月24日(水) 18時半、エルおおさか南館5Fホール

特別講演 薬師院 仁志さん (帝塚山学院大学教授)
「今、大阪で起きていること・その危険性」(仮題)

現場からの報告

- ① 公務員労働活動への支配介入と規制
- ② 入れ墨調査非回答者への不当処分
- ③ 朝鮮学校への補助金停止問題
- ④ リバティおおさかの存続問題
- ⑤ クレオ大阪の存続問題

参加費 500円

主催：橋下「維新の会」の労働と人権問題を考えるネットワーク

呼びかけ： 南大阪平和人権連帯会議 大阪東岸フォーラム平和・環境・人権
おおさかユニオンネットワーク 連絡先 (06) 6352-3400

備に反対する名護市民大会」が名護市役所中庭で開かれ千人超(主催者発表)が集結。配備撤回と米軍普天間飛行場の閉鎖・撤去を求める決議を採択した。沖縄のたたかいは今後も続く。

また、東京では十月二日、防衛省正門前で、岩国では九月三〇日「オス

ブレイの本土初飛行抗議 / 沖縄配備・低空飛行訓練反対九・三〇市民大集会」が取り組まれ、大阪では十月三日、午後六時から大阪米領事館前で抗議行動がおこなわれた。



交流秋まつり

日時：10月28日(日)10時より

場所：田中機械構内

バザーへの出品協力をよろしくをお願いします。

将棋コーナーの出場者募集中!

詳しくは

もちつき実行委員まで



がれきを燃やすな

八月三〇日、大阪市は此花区に続き、東日本震災で生じたがれき受入・焼却についての説明会を大阪市民のみ対象に開催した。

会場の中之島公会堂には五百人ぐらいの市民が出席。放射能だけでなく

砒素などの有害物質が含まれるがれきを焼却することの危険性をただした。しかし橋下は方針を決めるのは市会と言い放ち市民の怒りを買った。

十一月に試験焼却、来年二月に本焼却の予定。未来の子どもたちのために被曝の拡散を防ごう。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!